



令和4年12月15日
第864号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0041 東京都千代田区
九段南一丁目六番五号
九段会館テラス四階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
電報掛 00160-6-25389
編集 毎月1回15日発行
定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

常務理事会

戦後80年に向けた組織継承 青年部育成・拡大の具体策を了承

11月7日常務理事会が開催され、喫緊にして最大の懸案である組織継承策「戦後80年に向けた遺族会組織継承3カ年計画」と青年部育成・拡大の具体策が提案され了承された。今後、来年度の活動方針・事業計画の骨格とし、国に対し明確に予算要望すべく、各都道府県本部へ情報収集・提供の協力を呼び掛けた。

審議事項は、英霊顕彰・処遇改善運動の経過と今後の運動方針について、

友好親善事業・遺骨収集事業・遺留品返還事業、昭和三十九年度の実施状況についてであった。

最大の議題は、広報強化による組織継承策についてであった。

提議されたのは、組織継承の具体策「戦後80年に向けた組織継承3カ年計画」と青年部の育成・拡大の具体策であり、概要は左記の通り。

○青年部の育成・拡大の具体策
①「見る、聞く、体験する」百聞は一見に如かず

遺族会活動に参画したいと思わせる心揺さぶる体験を企画(遺児慰霊友好親善事業付き添いを想定)

②体験を発信する場の提供
③青年部独自事業の検討(予算要望)

祝 水落敏栄会長 皇居で叙勲親授式

11月9日皇居宮殿松の間において親授式が行われ、令和4年秋の叙勲における大綬章受章者が天皇陛下より直接勲章を授けられた。水落会長は夫

人々のために尽くしてこられたことに深く感謝いたします」と述べられた。親授式の様子がテレビや新聞で報道されると本会事務局には、祝電やお祝いの電話が殺到した。水落会長は、「この度の栄誉は、3期18年の議

員活動はもとより、半世紀にわたり遺族会活動に従事したことが評価されたものである。偏に全国のご遺族皆様のご指導、ご支援の賜物であり、ご遺族の皆様を代表して受けた叙勲だ」と感謝の念を表明した。

贈られた。

彩湖秋桜 亀山敏昭
新東海の真 佐賀守夫
宝幸七友愛 河野勝義
村山の春 郡司澄子
(順不同 敬称略)



水落本会会長が旭日大綬章を受章 (時事通信社提供) =11月9日、皇居で

靖国神社で 奉納菊花展

靖国神社において第67回奉納菊花展が10月16日から11月5日にかけて開催された。

11月22日には、靖国会館において奉納菊花展の表彰式が行われ、本会より盛川英治日本遺族会事務局長が出席し、祝辞を述べるとともに、次の作品に日本遺族会会長賞が



戦没者遺族の皆さまへ 第11回特別弔慰金の請求手続きについて 令和5年3月31日までにご請求ください。

支給対象となる方

令和2年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

■戦没者等の死亡当時のご遺族で

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入り替わります。
- 4 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。
※請求手続きの簡素化のため「同意書」が廃止されたので、同順位の方が複数いる場合は、話し合いのうえ、代表して請求する方を決めてください。

支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債 お住まいの市区町村の援護担当課

詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村の援護担当課にお問い合わせください。



常務理事会で挨拶する水落本会会長=11月7日、九段会館テラスの本会会議室で

声なき声

本紙が購読者の方々に届くころには、令和4年も後十数日を残すのみとなりテレビや新聞では今年の重大ニュースを振り返る頃である。本会のトピックスを紹介したい▼一つは、9月12日に催された本会創立75周年記念式典。式典終了後に、初めて天皇皇后両陛下と戦没者遺族の代表者との懇談会が開催されたことである。戦後生まれの両陛下の遺族に対する思いに触れ同時に歴代の天皇陛下の御心が確実につながれていることに深く感謝すると共に身の引き締まる出来事だった。▼二つには、10月1日に旧九段会館跡地に建設されたビルに本部事務所を移転出来たことである。東日本大震災による不幸な事故から11年。本部拠点を失った遺族会に、九段会館無償貸付法改正等、遺族会活動を理解し応援下さる国会議員の方々の熱意と、厚生労働省をはじめとする行政・東京都・千代田区や建設業者など、多くの方々の力を得て、新たにスタートをきることが出来た。▼ロシアのウクライナ侵攻や、中国の軍備拡張、北朝鮮の核・ミサイル開発など我が国を取り巻く環境は厳しさを増している。今こそ、77年前の「戦争を忘れない」ことが大切であり、その使命は遺族会に課せられたものだと言わざるを得ない。

初詣

令和五年
FIRST SHRINE VISIT

新年のお参りは
靖国神社へ

神恩感謝・国家安泰・家内安全など

行事等の詳細はホームページをご覧ください。
社務所までお問い合わせください。

靖国神社社務所
電話 03(3261)8026(代)
公式ホームページ
<https://www.yasukuni.or.jp/>

靖国神社

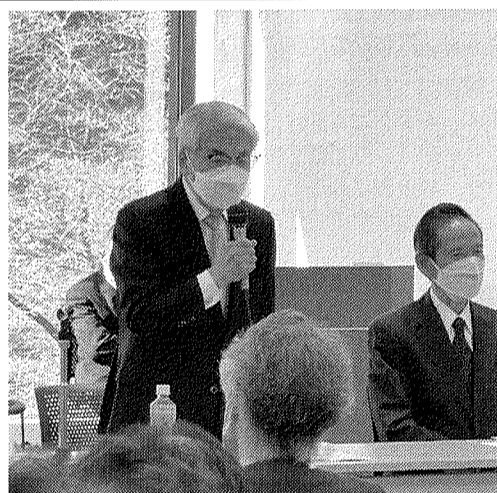
女性部研修会 女性部の役割方向性協議 妻特給継続に向け陳情

11月25日、本会事務局移転後初となる女性部研修会が九段会館テラスで開催された。全国の女性役員等75人が参集し、令和2年の女性部実態調査を基に3つのテーマについて協議がなされた。開会式には8月に参院議長に就任された尾辻名譽顧問もかけつけた。研修会終了後は要望事項実現のため国会へ陳情運動を展開した。

開会式には、須賀宏江 公務多端な中駆けつけ
女性部長はじめ、女性部 尾辻秀久名譽顧問が、
役員に加え、本会水落敏 議長報告の御礼を述べ
栄会長、来賓として尾辻 と、会場から万雷の拍手
秀久名譽顧問、昭和館伍 が起きた。徳永正利議長
藤忠春館長の出席を得た。 以来の慶事であり、水落
性部の実態調査に基づい

会長の叙勲受章とも重なる、華やいだ開会となつた。
研修会では、3つの分科会に分かれ、全国の女性部の実態調査に基づいた課題解決のため①部員の減少をいかに止めるか②課題への女性部の取り組み③女性部、青年部の継承についての3つのテーマで討論が深められた。

また、11月7日常務理事会において承認された「戦後80年に向けた組織継承策」が説明され、組織継承のため女性部に期待される役割と妻特給の意義と継続の重要性が再認識され引き続き再重点事項として取り組むことが確認された。



女性部研修会で挨拶する尾辻参院議長
=11月25日、九段会館テラスの本会会議室で

事務局長・職員研修会 3年ぶりに開催される

11月10日、11日、九段会館テラスの本会の新事務所会議室にて全国25都府県から事務局長・事務局職員、本会から水落敏

栄会長ら47人が参加し、事務局長・職員研修会が開催された。これまで新型コロナウイルス感染症拡大により数度にわたる延期を余儀なくされ実に3年ぶりに開催となった。研修会は、稲寿(栃木県)事務局長協議会幹事が座長となり進められ、遺族会の活動を次世代に継承するために、「戦後80年

期を余儀なくされ実に3年ぶりに開催となった。研修会は、稲寿(栃木県)事務局長協議会幹事が座長となり進められ、遺族会の活動を次世代に継承するために、「戦後80年

期を余儀なくされ実に3年ぶりに開催となった。研修会は、稲寿(栃木県)事務局長協議会幹事が座長となり進められ、遺族会の活動を次世代に継承するために、「戦後80年

期を余儀なくされ実に3年ぶりに開催となった。研修会は、稲寿(栃木県)事務局長協議会幹事が座長となり進められ、遺族会の活動を次世代に継承するために、「戦後80年



事務局長・職員研修会で挨拶する稲寿事務局長協議会幹事
=11月10日、九段会館テラスの本会会議室で

本会の諸会議

本会が11月24日以降、開催した各種会議は次の通り。
▼女性部幹事会 11月24日 翌25日開催女性部研修会での運営分担等について。
▼女性部研修会 11月25日 詳細記事2面に記載。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照するか、本会にお問い合わせください。

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円(1年間12回 税金・送料込)
お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

ミャンマー小学校 修繕募金のお礼

ミャンマー小学校修繕募金にご賛同いただいた下記の方々に対し、お礼申し上げます。
▼賛同者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)
ヤマガシヨウイチロウ(以上、11月1日から11月末日まで)

皆様からいただいた「ミャンマー小学校修繕募金」は校舎等の修繕費用に充てさせていただきました。心より感謝申し上げます。

府県地元選出の自民党所属国会議員に面会し、本会の要望事項実現に向けて理解と協力を求める陳情運動を行った。

【厚生労働省からのお知らせ】 戦没者遺骨のDNA鑑定の対象地域を拡大し、 10月1日から申請を受け付けています。

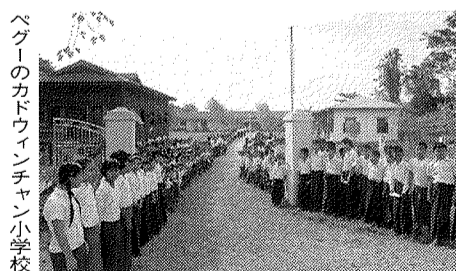
- 厚生労働省はDNA鑑定により戦没者遺骨の身元を特定してご遺族のもとへご遺骨を返還する事業を行っています。
- これまで実施してきた沖縄、硫黄島、タラワ環礁に加え、下記地域の戦没者のご遺族からの申請を受け付けます。

- ・硫黄島
- ・インド
- ・インドネシア
- ・沖縄
- ・樺太
- ・旧ソ連等
- ・旧ソ連、モンゴル
- ・タイ
- ・中部太平洋地域
- ・ウエーク島、ギルバート諸島、ツバル、トラック諸島、パラオ諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、メロン島
- ・ビスマーク
- ・ソロモン諸島
- ・フィリピン
- ・ミャンマー (50音順)
- ・東部ニューギニア
- ・ノモンハン

※他の戦域も戦没者遺骨の検体が採取され次第鑑定を実施します。

●申請方法等詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。
掲載先 戦没者遺族等への援護「戦没者遺骨のDNA鑑定」
URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137645_00006.html

相談先電話番号 ※お迷いの方もまずはご相談下さい。
03-3595-2219(厚生労働省社会・援護局戦没者遺骨鑑定推進室)



ミャンマー(旧ビルマ) 小学校修繕募金のお礼

日本遺族会では、ミャンマー(旧ビルマ)に建設寄贈した小学校の修繕費用について寄付金を募っております。先の大戦で18万の将兵が散華されたミャンマーの子供たちのためヤンゴン、アキヤブ、ベグーに3校の小学校を建設し、竣工贈呈をいたしました。建設から20数年が経過し、校舎等も老朽化が進んでいることから、この度修繕費用を募ることいたしました。関係ご遺族をはじめ、広くご遺族の皆様からのご支援をお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 神田支店
口座番号：当座預金1015126
口座名：一般財団法人 日本遺族会(ザイ) ニホンイソクカイ

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：ザイ）ニホンイソクカイ」

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

各地域の主な入国制限等について

令和4年11月28日現在

地域	安全危険レベル	日本からの入国制限等
1 フィリピン	1~3 地域により	スマートフォンにて「eARRIVAL CARD」(渡航情報申告書)を事前登録、QRコード及び手続番号(transaction number)をスマートフォンに保管しフィリピン検疫局に提示 訪問予定地の地域の一部ではコロナ感染対応の医療機関がない
2 中国	1	出発前の48時間以内にPCR検査を行い陰性証明書を取得、スマートフォンにて健康コードの申請 入国後の5日間 + 3日間の隔離等(隔離等の対応は各省等により異なる) 現在、北京や上海など、主要都市への航空機は運休及び減便となっている

※各国のコロナ感染症危険レベルは1となった 10月19日～(上記一覧では安全危険レベルを記載)
※出入国にあたり基本的にワクチン接種証明書(英語版)の提示
※日本帰国にあたり「My SOS」アプリを事前登録(携帯のスマートフォンが必要)
※海外旅行にあたっては、コロナ対応保険等に加入することを推奨
※各国の新規感染者数等については、地域により不透明
上記内容等については、各旅行業者等より情報を得て作成



フィリピンのミンダナオ島洋上で供養する団員ら
=平成30年3月

実施計画概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 フィリピン(2次)	令和5年3月10日～3月17日	120人	1月10日
2 中国	令和5年3月22日～3月30日	80人	1月20日

実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。また、新型コロナウイルス感染症では、安全が確認された上で実施するか否かを各地域の締切日を待って判断するので、予めご了承ください。参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。事業の実施については、日本国内や訪問地域の相手を感染症予防の観点から、ワクチン接種証明書、健康観察のアプリ(電子媒体の申請書)を取得するためのスマートフォンが必須となる。

本会への賛助金のお礼

本会への賛助金にご賛同いただいた左記の方々に対し、お礼申し上げます。また、都道府県名については、送金方法により居在が特定できない場合があるので、省略する。賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)九段の会一同、児玉文敏、森本浩吉、百田節子、竹林彌白、山崎澄子、牛山和彦(以上、11月1日から11月末日まで)皆様からいただいた賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただいております。なお、11月納入者のほとんどが「戦没者遺児に」による慰霊友好親善事業実施三十周年記念誌「購入者」でありました。重ねて感謝申し上げます。

慰霊友好親善事業 遺児の参加者募集

募集要項は次の通り。
▼時期及び地域 実施計画概要参照。
▼参加費 10万円。
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から

の交通機関は自己の手配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き手数料等、さらに日本国内外問わず、新型コロナウイルス感染症対策によるPCR検査等の費用は、個人負担となる。

▼参加資格 戦没者の遺児(周辺公海上を含む実施地域で父等を亡くした方に限る)
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。また、申込多数の場合

合は選考となる。実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。また、新型コロナウイルス感染症では、安全が確認された上で実施するか否かを各地域の締切日を待って判断するので、予めご了承ください。参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。事業の実施については、日本国内や訪問地域の相手を感染症予防の観点から、ワクチン接種証明書、健康観察のアプリ(電子媒体の申請書)を取得するためのスマートフォンが必須となる。

実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。また、新型コロナウイルス感染症では、安全が確認された上で実施するか否かを各地域の締切日を待って判断するので、予めご了承ください。参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。事業の実施については、日本国内や訪問地域の相手を感染症予防の観点から、ワクチン接種証明書、健康観察のアプリ(電子媒体の申請書)を取得するためのスマートフォンが必須となる。

実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。また、新型コロナウイルス感染症では、安全が確認された上で実施するか否かを各地域の締切日を待って判断するので、予めご了承ください。参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。事業の実施については、日本国内や訪問地域の相手を感染症予防の観点から、ワクチン接種証明書、健康観察のアプリ(電子媒体の申請書)を取得するためのスマートフォンが必須となる。

実施地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。また、新型コロナウイルス感染症では、安全が確認された上で実施するか否かを各地域の締切日を待って判断するので、予めご了承ください。参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。事業の実施については、日本国内や訪問地域の相手を感染症予防の観点から、ワクチン接種証明書、健康観察のアプリ(電子媒体の申請書)を取得するためのスマートフォンが必須となる。

コロナ禍で中止されていた厚生労働大臣表彰式が12月7日挙行された。羽生田俊厚生労働副大臣の挨拶に続いて司会者より被表彰者の名前が一人ずつ読みあげられると、場内より栄誉を称える大きな拍手が沸き起った。その後、被表彰者を代表

して浜崎和則鹿児島県遺族連合会常務理事兼事務局長(羽生田俊厚生労働副大臣より表彰状と記念品が授与された。最後に被表彰者を代表して沖繩県の上運天賢盛が先の大戦が終結して今日までの長きにわたり、戦没者の遺族あるいは戦

4年度援護事業功労者 本会関係 31支部79人が受賞

厚生労働大臣表彰

令和4年度の援護事業功労者に対する厚生労働大臣表彰式が12月7日、都内の都道府県会館において3年ぶりに挙行された。多年にわたり戦没者遺族、戦傷病者、中国からの引揚者等の援護事業に携わり、功績が顕著な方々、84人が表彰された。このうち日本遺族会関係者は、31支部79人が栄えある受賞に輝いた。

式終了後、本会関係者はバスにて靖国神社に移動し昇殿参拝を行い、御霊に受賞を奉告した後、飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにおいて、本会主催による厚生労働大臣被表彰者祝賀会に出席した。

祝賀会は、水落会長の挨拶、盛川英治本会事務局長の乾杯の発声で始まり、被表彰者を代表して浜崎氏が謝辞を述べた。祝賀会は栄えある受賞者の方々に祝福し、和やかなひとときとなった。

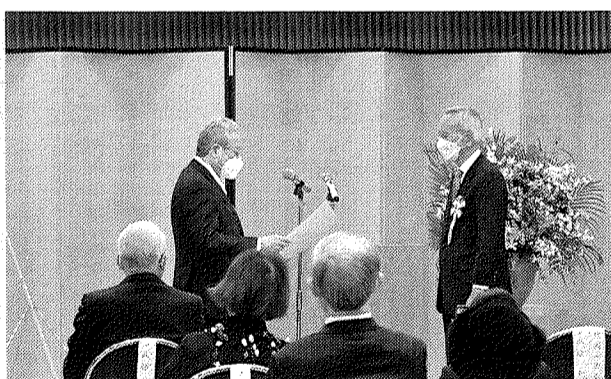
表彰された本会関係者の方々は次のとおり。(敬称略)
【北海道】佐藤輝雄、山

谷敬二、鳴海征夫、倉知キミ子【岩手県】高橋清志、小山賢和【秋田県】後藤立身、小野進一郎【福島県】竹原章、六戸武【山形県】中村政行、佐藤勇司【東京都】武藤孝行、田邊美佐子、小泉俊男【神奈川県】常盤千鶴子、中込弘行【埼玉県】増田幹男、藤田勇、原肇子【茨城県】駒橋一俊、米川一夫、関口幸子、矢代克己【静岡県】村越敏朗、太田雅規、瀧尾輝久【栃木県】神野一郎、塩田弘男【長野県】栗生勝由、木村直木【石川県】三輪吾郎、高木賢一、山崎登【福井県】山岸忠輔、徳庄継夫、高野勲【愛知県】松井洋子、安藤泰江、東野幸美、久野康博、野口忠

滋好【滋賀県】土田幸夫、中澤光子【和歌山県】津村均、狭間育子、明治村津美【兵庫県】伊豆島光子、溪一子【鳥取県】森忠弘、多田一明、中村ヒ

実【島根県】落合傳吉、中岡誠、村上憲良【岡山県】大月健一【広島県】梅野陽造、秋國美恵子、金井正弘【香川県】林野山英雄【福岡県】遠藤朋池上勝義

事業功労者表彰式



被表彰者を代表して表彰状を受け取る浜崎和則鹿児島県遺族連合会常務理事兼事務局長(右側)=12月7日、都道府県会館で

援護事業功労者表



祝辞を述べる水落本会会長=12月7日、都道府県会館で

水落会長渡米 課題等協議 戦没者等の遺留品返還事業

本会が厚生労働省から委託を受け実施している戦没者等の遺留品返還事業について、業務の一部を再委託しているOBONソサエティと、直面している課題等について協議するため、11月水落敏栄会長はアメリカのオレゴン州を訪問した。また、12月2日には、日章旗返還式に出席するためOBONソサエティ代表が来日した同団体と、共同記者会見を開いた。

水落会長は担当者と共に11月14日から19日の期間でオレゴン州ポートランド及びアストリアを訪れ、現地関係者と戦没者等の遺留品の返還事業の今後の取り組み方、問題点等を協議した。

水落会長は、滋賀正樹総領事、重久直人領事と面会し、「遺骨はおろか遺品のひとつも無い遺族にとり、日章旗等の遺品が返還されることは遺骨が戻ってくるに等しく大切なことである」と説明し、本事業の重要性と遺品の早期返還について理解を求めた。

16日にはOBONソサエティの本部があるアストリアで、同団体の共同代表レックス、敬子、ジーク夫妻、理事2人と会合を開き、本事業が直面している問題点、今後の運営等について協議した。

冒頭で水落会長は、昨今の急激な円安とアメリカ国内の物価高騰について触れ、OBONソサエティの活動状況を危惧し、来年度の本事業の予算が増額されるよう、これまで政府高官に直接会って要望してきたことを伝えた。

OBONソサエティ側からは、現在日本遺族会から支払われている委託費と同団体が募っている寄附金等で事業を運営していくことが非常に厳しい状況にあり、このままでは一旦業務を中断せざるを得ない段階にまで追い込まれている現状が、会計資料等用いて説明された。

これに対し水落会長は、国からの委託業務を停滞させることは許されず、なんとしても業務を継続できるよう努力を求めた。他方本会でも同団体を支援する基金を立ち上げることで、12月に来日する際に、共同記者会見を開き、事業の意義を訴える機会を設けることを提案した。

あわせて、水落会長は、同団体の活動を支援するために本会から助成金を支出することが、11月7日の常務理事会で承認されたことを説明し、レックス・ジーク代表に助成金5000ドルを手渡し

が来日し、九段会館テラスの本会会議室で、本会との共同記者会見を開き、ジーク夫妻がアメリカから持参した240枚の日章旗を報道陣に公開した。(同団体がアメリカに保管する2400枚のうちの1割)

記者会見には、逢沢一郎衆議院議員(遺家族議員協議会会長代行)も参加し、松村祥史参議院議員(みんなで靖国参拝議員)も出席した。

記者会見で水落会長は、「恩讐を超えた平和を願う本事業を広く周知してもらいたい」と集まった報道関係者にお話した。また、レックス・ジーク共同代表は、今回の広島県での返還式は自身にとりて特に思い深いものになるだろうと、記者の質問に答えた。

記者会見で水落会長は、「OBONソサエティの活動について紹介し、」



共同記者会見で240枚の日章旗を公開
=12月2日、九段会館テラスの本会会議室で

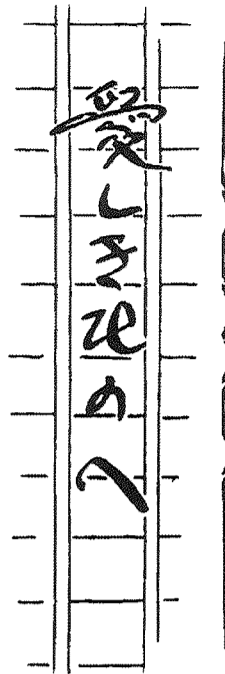
議員(みんなで靖国参拝議事事務局局長、戦没者の孫)、中英英幸衆議院議員(みんなで靖国参拝議員)、埼玉遺族連合会青年部長、同団体が広島県での日章旗返還式で遺族に手渡し日章旗をアメリカから持参したりチャード、クリス・ジョンソン親子も出席した。

記者会見で水落会長は、「OBONソサエティの活動について紹介し、」

「OBONソサエティの活動について紹介し、」

「OBONソサエティの活動について紹介し、」

遺書



昭和二十年三月十九日
フィリピン・ルソン島にて戦死
新潟県佐渡郡新穂村出身 二十四歳

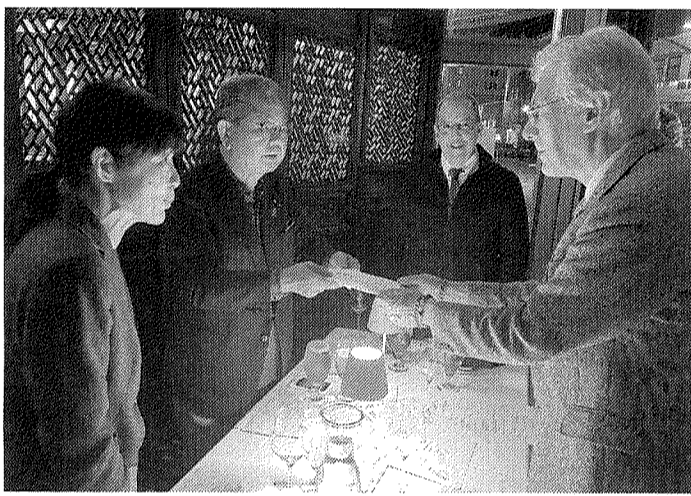
兄として何一つ出来なく申訳なし
大命に依り征途に就く
再び生還を帰せざる覚悟なり
大和女として男々しく生きられよ
今度会ふ日は靖社
最後に多幸を祈る

妹へ

兄

*文中の「靖社」は靖国神社の意

【令和四年十二月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ



OBONソサエティの活動を支援するため、本会からの助成金を手渡す
水落本会会長=2022年11月16日、オレゴン州アストリアで

10月29日静岡県遺族会青年部が上京研修会を実施。靖国神社を参拝後、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で拝礼、新宿の平和祈念展示資料館(シベリア抑留者記録展示)を視察した。

11月17日佐賀県遺族会、長崎県連合遺族会事務局長・職員が上京研修を実施。九段会館テラスの視察や事務局職員研修会での研修事項(常務理事会で了承された組織継承策)の説明を受けた。

11月19日、20日滋賀県遺族会青年部が上京研修会を実施。靖国神社昇殿参拝、昭和館見学。九段会館テラス本会会議室にて組織継承策について説明を受けた。

各支部遺族会で、実施された大会等は次の通り。
▼秋田県 10月12日
秋田県遺族連合会創立70周年記念式典(122人)
▼長野県 10月14日

第70回長野県戦没者遺族大会(456人)
▼山梨県 10月17日
山梨県遺族会創立75周年記念大会(510人)
▼山形県 10月18日
山形県遺族会創立75周年記念/第73回山形県戦没者遺族大会(245人)
▼愛知県 10月18日
令和4年度愛知県戦没者遺族大会(300人)
▼岐阜県 10月21日
令和4年度岐阜県遺族会

佐賀・長崎・滋賀 上京研修会を実施

地方だより

遺族大会(300人)
▼香川県 10月22日
令和4年度戦没者慰霊祭(170人)
▼滋賀県 10月29日
令和4年度滋賀県戦没者遺族大会(375人)

【九段短歌】
休載のお知らせ
九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載とさせていただきます。